

学校だより

令和2年度（2020年度） 2月22日

松 任 小 学 校 No.1 1

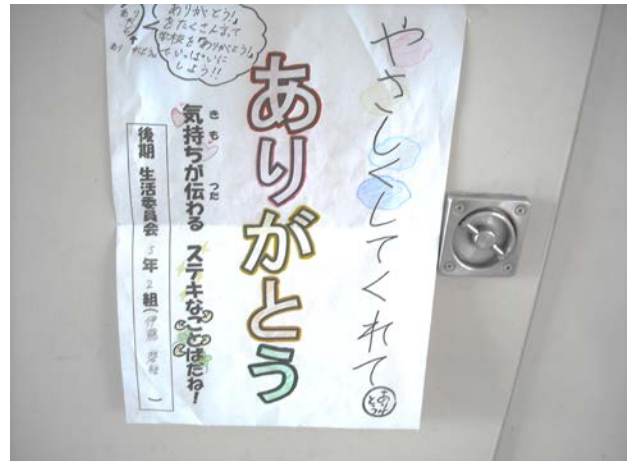


松任小学校 教育目標

進んで考え、みんなと一緒に
つくりあげる子の育成

工夫した呼びかけと思いやりで、協力してみんなで創る！

2月中旬、1～5年生は、6年生を送る会のために各学年で工夫して準備や練習をしています。6年生は卒業発表会の準備や練習に一人ひとりが真剣に取り組んでいます。2月の全校朝会では三学期始業式で話題にした①飛躍②活躍③「ジャンプ」するための「力をつける」ために、再度「本物は中身の濃い平凡を積み上げる」ことを伝えました。一人ひとりがその本物であるかは、つまり、その人が一生懸命に取り組んでいるかどうかは「声」や「目」に出るのです。一人ひとりとは、どんな声を出していけばよいか、日頃を大切に取組み続けてほしいのです。また、全員への宿題として、「本当の『思いやり』とはどんなことか、どう行動することかを学年が終わる3月までや進学・進級した4月からの学年でも大切に考えて行動してほしい。」と児童に伝えました。現在、5年生6年生は、二学期や1月に引き続き、毎日、児童会委員会活動も工夫して協力や良さを広げて学校全体へ呼びかけて取り組んでいます。



児童会生活委員会による呼びかけポスター

放送委員会は朝、昼、帰りの放送。昼の「松小ニュース」では、放送委員が学校生活や社会のことから話題を選び、調べたことや自分の考えを伝え、これからどうしたらよいかを全校児童に毎日伝えています。生活委員会は挨拶運動と「～してくれてありがとう」を伝え合うことを呼びかけるポスターの作成と掲示、美化・環境委員会は、毎朝の花への水やり等、給食委員会は給食メニューのお知らせと栄養素別に材料を書くこと、残食を減らす取組。保健委員会は、毎朝の健康観察と手洗い用の石鹸やハンドソープの補充、体育委員会は「投げる力」を高める取組の企画、掲示委員会は掲示板の季節感のある掲示物の作成や廊下の黒板に季節にあった詩や絵などをかくこと、図書委員会は放送による本の読み聞かせ、本の福袋の取組の企画、朝読書の前日に本の用意を呼びかけること等、運営委員会は、学校全体の児童会活動や委員会活動の企画調整運営等、12月に取り組んだ「感謝ウィーク」の継続の取組として、登下校中に「見守り隊の方や地域の方にあいさつやありがとうを伝える」ことを呼びかけています。それぞれが自分の役割をしっかりと取り組み、より思いやりにあふれる「支え合える 元気で 楽しい松任小」を児童自身の手で創り上げています。自分自身や自分の学年・学級以外のことにも、進んで工夫して取り組む良い姿がいっぱいです。委員会だけでなく、クラスで、学年で、縦割り班活動で、相手の気持ちを考えて協力して、自分たちで進んで協働して取り組む6年生から1年生までのがんばりはとても素敵で素晴らしいと感心しています。

6年生ありがとう！バトンを引き継ぎ卒業・進級へ！

6年生は卒業式まで学校の授業日が残りが残り18日となりました。6年生は、縦割り班活動、児童会委員会活動、運動会等の行事や日頃の異学年での交流、授業など6年の学年や学級の活動の中でも、模範となる行動で、素晴らしい姿を下級生に示してくれました。また、5年生も、「学校を支える学年」として、児童会委員会活動・4年生を含めたクラブ活動で学校の中心として、その場にふさわしい「良い音」が聞こえる学校に貢献してきました。これからは各学年が上の学年の「良さ」のバトンを引き継ぎ、自分たちの「良さ」を活かして新しい「松任小」を創っていきます。6年生は、創立149年目のこの一年間、下級生のお世話や呼びかけ、模範となる行動で、より良い学校づくりに創意工夫し、6年生を中心に1年生から5年生と一体となって、新たな伝統を創りあげてくれました。

保護者の皆様には、児童一人ひとりの成長を支え、ご配慮頂き、学校の教育活動に多くのご理解とご支援・ご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。